

## クラウド各項目の説明

まず、このクラウドを理解してスラスラと入力できる方は、かなりの有識者です。また初回訪問日は、利用者様や家族と顔を合わせて「ご希望を伺う日」ですので、数回の訪問を重ねて必要な項目から診察してください。そして既往歴やご希望などはケアマネジャーと連携し、必ず情報を入力ください。

また、**全ての症例を入力する必要はありません**。継続した口腔ケア・嚥下リハの症例における予後予測を明確にするためにご利用ください。

### ① フェイスシート

事前研修の「3つの公式」でも、原疾患は重要要素となります。

### ② ヒアリング

既往歴と第一印象からファースト診断を行います。経験を重ねるごとに「視診の力」が増えてきますので、時々、思い出して初診時の時の判断と経過した時期での判断が一致しているかをご確認下さい。

### ③ 診察

意思疎通・既往歴・バイタル・ADL・栄養方法・摂食問診・口腔嚥下診査と入力が必要項目です。既往歴等はケアマネ情報から、他は数回に分けて診察します。

### ④ 指示箋

摂食機能療法の項目にもなります。初心者の方は、まずは口腔ケアを必須として必要な項目を追加ください。

### ⑤ 摂食評価

初回は・・・から印刷して現場で筆記を行い、あらためて机にすわりクラウドに入力してください。また、正常摂食を一度は行ってから患者観察をしてください。

### ⑥ VE/VF 評価

在宅では、VEの有無にかかわらずチームで判断しなければなりません。VEが必要な症例と必要でない症例等を見極めて下さい。

### ⑦ カンファ

SOAPナビゲーションから臨床のヒント（基礎知識）や在宅症例集を利用して、同じようなケースを調べ、じっくりと考えて下さい。

※ 練習で入力した症例は削除しても良いですが、患者様を対象として入力したケースは保存しておいてください。今回の「食支援認定士」はDVDを視聴し、このクラウドを理解して慣れるまでOKです。将来、50症例かつ摂食評価が5例以上の方には「食支援専門医」を検討しております。